

令和8年度（追加募集）大学院医学研究科修士課程入学試験
外国語（英語）試験

意図

本試験では、世界保健機関（World Health Organization, WHO）が一般市民向けに公開している英語記事を題材とすることで、英語を実用的に理解し、医学や保健にかかわるテーマを論理的に読み解く力を測定することを目的としています。

本記事は、医療従事者のみならず一般の人々にも理解しやすい語彙と文体で書かれており、ワクチンの基本的な仕組み、安全性、社会的意義について平易に説明しています。設問は本文全体を通して重要な情報を整理し、主要な概念を日本語で説明させる構成としました。

医学や生命科学に関する基礎的な英語文書を正確に読み取る力は、大学院レベルの学修・研究を進める上で不可欠であり、本試験ではそのような基礎的素養を総合的に評価することを意図しています。

本試験では、以下の能力を評価します。

- ・英語読解力：医学・保健分野の基本的英文を正確に理解できるか
- ・情報整理力：英文の内容を論理的にまとめ、
日本語で要点を過不足なく表現できるか
- ・表現力・思考力：自分の言葉で説明・意見を述べる力を持っているか

解答

1. ワクチンは、病気にかかる前に体を守るための安全で効果的な方法である。体の自然な防御反応を利用して、免疫を強くし、特定の感染症に対する抵抗力をつけるしくみである。
2. 体が侵入してきた病原体を認識する。
病気と戦うためのたんぱく質（抗体）をつくる。
病気のことを覚え、次に同じ病原体が入ってきたときすぐに退治できるようにする。
3. ① 自分を守るため。麻しんや破傷風などの重い病気にかかる危険を減らせる。
② 周りの人を守るため。赤ちゃんや病気の人など、ワクチンを受けられない人を感染から守ることができる。

4. ワクチンは非常に安全であり、使用前に何段階もの試験を受ける。承認後も定期的に再評価され、科学者が常に安全性を監視している。副作用は腕の痛みや軽い熱など一時的で軽いことが多く、重い副作用はまれである。
5. ワクチンで防げる病気は、かかると激しい痛みや合併症、場合によっては死に至ることもある。ワクチンの副作用はごくまれで軽いため、病気の危険と比べるとワクチンの方がずっと安全であり、多くの命を救っているからである。